

25年ぶりのジェットfoilが共有建造制度により実現！

～東海汽船株式会社「セブンアイランド結(ゆい)」～

東海汽船株式会社と鉄道・運輸機構の共有船「セブンアイランド結」が、川崎重工業株式会社神戸工場において、令和2年6月30日に竣工しました。ジェットfoilの竣工は実に25年ぶり^(注)で、共有建造制度(別紙参照)の活用により実現しました。7月13日より、大島・利島・新島・式根島・神津島航路に就航する予定です。(注)共有建造制度によるジェットfoilとしては26年ぶり。

ジェットfoilは、米国ボーイング社によって開発された水中翼船で、船体の前後にある水中翼に働く揚力で船体を海面上に持ち上げ、時速約80kmの高速で航行する超高速船です。波浪中でも波高3.5m程度まで安定的な運航が可能であることから高い就航率を誇り、離島航路において、住民や観光客の移動手段として重要な役割を担っています。昭和52年(1977年)に日本に初導入された後、現在、7航路で21隻が運航されていますが、製造から長年が経過し、そのリプレイスが課題となってきたところです。

鉄道・運輸機構では、ジェットfoilの建造を支援するため、ジェットfoilの共有建造において、共有期間を通常(軽合金船)の9年から最長15年へ延長する制度の拡充を平成28年度に行うとともに、令和2年度からは、共有比率の上限を、一定の条件のもと70%まで引き上げるという更なる制度の充実を図りました。

今後も共有建造制度を通じ、日本の海上交通ネットワークの充実に向けて、ジェットfoilの建造を始めとした国内旅客船の建造を支えて参ります。



(写真提供) 川崎重工業㈱

ネーミングおよびカラーリングは美術家の野老朝雄氏によるもの。島の海に映える藍色“TOKYO アイランドブルー”を纏ったスタイリッシュな船体の特徴。

【「セブンアイランド結」概要】

共有建造事業者：東海汽船株式会社
建造造船所：川崎重工業株式会社
総トン数：176トン
航海速力：43ノット(約80km/h)
全長×幅×深さ：27.36m×8.53m×2.59m
座席数：241席

<本件に関するお問合せ先>

鉄道・運輸機構 共有船舶建造支援部
建造支援課 Tel：045-222-9139

Mail：kensoku@jr-tt.go.jp

共有建造制度の仕組み

